

事業計画書（実績書）

令和5年7月28日

団体名 綾部市民短歌大会実行委員会

事業の目的	短歌を広く市民に呼びかけ、年1回「綾部市民短歌大会」を開催して短歌愛好者の発表並びに研修の場、親交を深める場とし郷土文化の発展並びに向上を図る。
事業の名称	第34回 綾部市民短歌大会
事業費 (市補助金)	144,053円 (43,000円)
補助金の使途	講師謝礼、講師旅費、会場使用料、大会ポスター、大会案内チラシ、作品集印刷代（一般・小中学校）、賞状印刷代、コピー代、大会写真代等
事業の実施期日	令和5年7月1日（土）
事業の実施場所	あやべ・日東精工アリーナ（綾部市市民センター）1階研修室、会議室3
事業の概要	<p>本年度は4年ぶりの集合形式での「短歌大会」として開催し、大会出席者は選者・講師の清水怜一先生から「誠意をこめ、配慮に満ちた熱き歌評・指導」を受ける。小・中学生は、表彰式のみ出席（9名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詠草の募集／3月中旬～4月28日（金）まで ・FMいかるへの出演並びにあやべ市民新聞への記事の掲載。 ・作品集（冊子）／一般の部（180部）、小・中学生の部（140部） ・入賞作品／一般の部（11首）、小・中学生の部（小10首、中3首） ・全出詠者の個別評価（AB評価）と総評の資料／選者：清水怜一先生 ・大会次第／開会→13:00～13:30、歌評指導→13:30～15:30、表彰式→15:30～16:00 ・応募者／一般の部（101名・202首）、小・中学生の部（90名・125首）。合計191名、327首 ・大会出席者／一般の部（64名）、小・中学生の部（9名）
補助金の効果（成果）	「あやべにぎわいづくり補助金」の活用により、参加料1,000円の据え置きが図られたことから、広く市民の皆様の応募があり、それぞれの場所で素敵な短歌の花を咲かせていただいている短歌愛好者の発表並びに交流の場として、また研修の場として郷土文化の維持並びに発展に期待ができる。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和5年7月28日

団体名 綾部市民短歌大会実行委員会

(単位：円)

収入の部	区 分	予 算 額	収入済額	明 細
	市補助金	43,000	43,000	
	参加料	101,000	101,000	1,000円×101名
	自己資金	477	53	
	合 計	144,477	144,053	
支出の部	区 分	予 算 額	支出済額	明 細
	謝礼	30,000	30,000	清水怜一先生に対する当日謝礼
	旅費	5,740	5,740	特急料金／京都⇄綾部
	歌評謝礼	20,000	14,260	全詠草のAB評価:検討等に対する手当(対象外)
	会場使用料	13,500	13,500	綾部市民センター
	印刷費	49,370	49,370	詠草集印刷代 44,370円 添付書類 5,000円
	消耗品費	12,974	12,974	角2封筒 1,450円 賞状 7,744円 消耗品 3,780円
	詠草入力手当	11,000	11,000	構成員3名分(対象外)
	会議費	1,200	6,516	資料コピー代 1,200円 講師等お弁当代 5,316円(対象外)
	通信費	693	693	入賞者お知らせハガキ
	合 計	144,477	144,053	(対象経費 113,477)
差 引		0	0	